

開館30周年記念 みんぱく公開講演会  
毎日新聞夕刊連載コラム「異文化を学ぶ」をもっと学ぼう!

# 新しいデザインを ライフ・デザインを 求めて

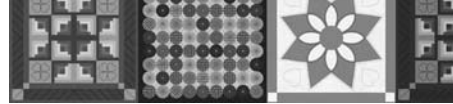
「環境」を「生活」という視点から考えてみましょう。  
資源や技術の使い方が、いまあらためて問われています。  
現代に生きる先住民とアーミッシュの生活から、  
あなたならどんな21世紀のライフ・デザインを描きますか?



- 日時：2008年3月7日(金) 18:30~20:30(開場17:30)
- 場所：オーバルホール 大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビルB1
- 定員：400名 ■ 参加費：無料

注意事項

● 会場には必ず参加証をご持参ください。参加証はお一人様一枚となっております。



# 新しいデザインを ライフ・デザインを 求めて

17:30~18:30 受付:  
 18:30~18:35 開会: 毎日新聞大阪本社編集局長 藤原 健  
 18:35~18:40 挨拶: 国立民族学博物館長 松園万亀雄  
 18:40~19:10 講演1: 佐々木史郎「森に生きる先住民—ロシアと中国のあいだで—」  
 19:10~19:40 講演2: 鈴木七美「アーミッシュのユートピア探求」  
 19:40~19:55 休憩:  
 19:55~20:30 パネルディスカッション



## 講演 1

### 「森に生きる先住民—ロシアと中国のあいだで—」

佐々木史郎 ささき しろう (研究戦略センター・教授)

森の中で狩猟を<sup>なりわい</sup>生業とする人々という、石器時代人の生き残りのような印象を与えるが、ロシア沿海地方の先住民ウデヘにはそれは当てはまらない。常に最先端の装備をもち、激動の20世紀を狩猟という生業で生き抜いてきた彼ら独自のライフスタイルを紹介しながら、21世紀の持続可能なライフスタイルを考える。



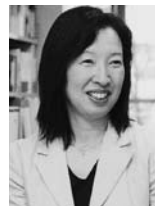
ながらく北方ユーラシアの寒冷地帯に暮らす人々の文化に関心を持ってきたが、近年は社会主義という体制を経験した人々の社会の研究にも従事している。著書に『北方から来た交易民—絹と毛皮とサンタン人』(日本放送出版協会、1996年)、『港町の世界史 ① 港町と海域世界』(青木書店、2005年)などがある。

## 講演 2

### 「アーミッシュのユートピア探求」

鈴木七美 すずき ななみ (先端人類科学研究部・教授)

アメリカ合衆国には、いままさにひかされたバギーが行き交う地域がある。手綱をとるのは、信教の自由を求めて18世紀にヨーロッパから移住したアーミッシュ。大地を耕し、車や電話、テレビなど近代的テクノロジーを使わず昔ながらの暮らしを守っている。近年、キルトやジャムづくりを通して世界の災害・紛争地域への援助にも関わる人々の生活実践から、現代に生きるライフスタイルのヴァリエーションを探る。



ユートピア・コミュニティ、代替医療運動、オルタナティブ教育など、ライフデザインの思想と実践を追っている。生きる空間の可能性を拓いてゆきたい。著書に、『出産の歴史人類学—産婆世界の解体から自然出産運動へ』(新曜社、1997年)、『癒しの歴史人類学—ハーブと水のシンボリズムへ』(世界思想社、2002年)などがある。

## 司会

森明子 もり あきこ (研究戦略センター・教授)

専門はヨーロッパ人類学。皮膚感覚のヨーロッパを探りながら、オーストリアやドイツで調査している。著書に『土地を読みかえる家族—オーストリア・ケルンテンの歴史民族誌』(新曜社、1999年)、『ヨーロッパ人類学—近代再編の現場から』(新曜社、2004年)などがある。

■ 申込方法: 「3月7日講演会参加希望」と明記の上、1) 郵便番号、2) 住所、3) 氏名(ふりがな)、4) 連絡先電話番号を記載し、ハガキ、FAX、メールにてお申し込みください。2名様以上でお申し込みの場合は、それぞれの1)~4)を必ず明記してください。なお、応募者が多数の場合はご参加いただけない場合もあります。2月中旬に参加証を発送する予定にしております。当日は手話通訳もごさいます。

車椅子や介助等を必要とされる方は事前にお申し出ください。

\*参加申込をいただいた方の個人情報は、参加証の発送、次回以降の講演会、及び本館が開催するシンポジウム・フォーラムなどのご案内に使用いたします。

■ 宛 先: 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1  
FAX 06-6878-8479  
メールアドレス koenkai@idc.minpaku.ac.jp

■ 問合せ先: 国立民族学博物館 研究協力課研究協力係  
TEL 06-6878-8209  
http://www.minpaku.ac.jp/

みんなく携帯サイト  
■ 旬着情報を  
クリック!



● JR大阪駅(桜橋)から地下道にて徒歩約8分  
● 阪神梅田駅・地下鉄西梅田駅から徒歩約8分 ※車でのご来場はご遠慮ください